

コロナ禍におけるひとり親家庭状況調査結果について

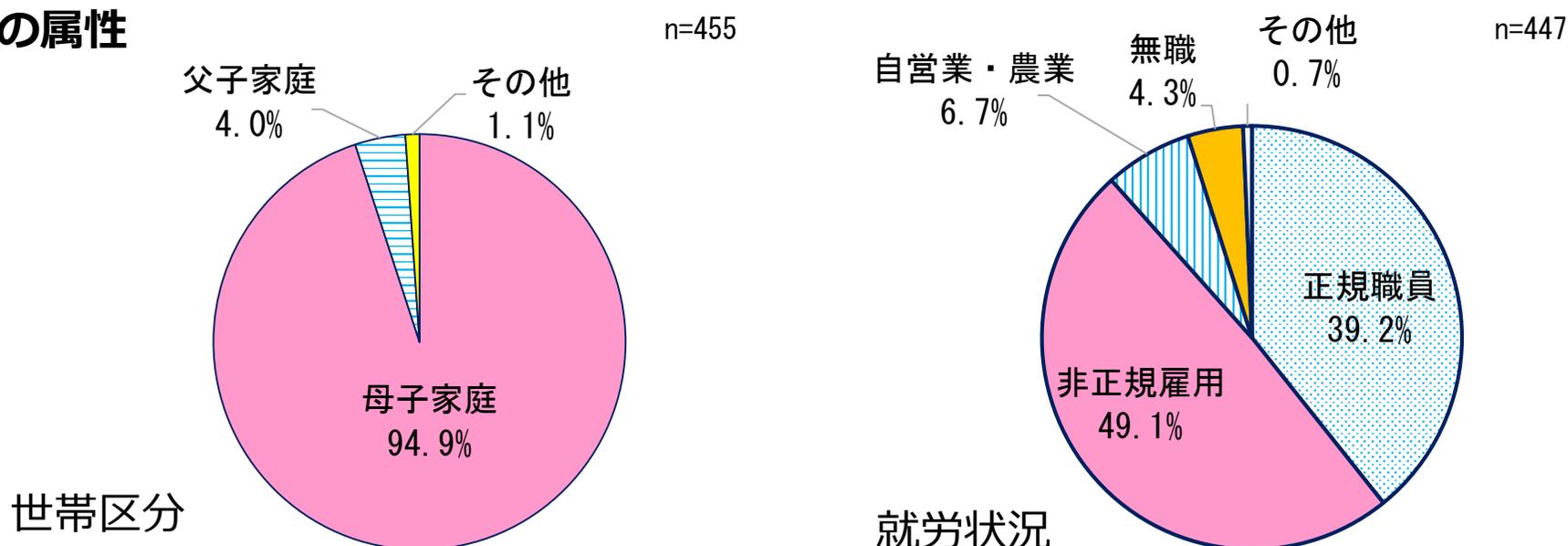
県民文化部 こども若者局 こども・家庭課

調査の概要

- 1 調査目的 コロナ禍における直近のひとり親家庭の実態を把握し、今後の支援に活かす。
- 2 調査対象 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）の受給者のうち令和3年4月分の児童扶養手当受給者 2,273人
- 3 調査方法 特別給付金の支給通知に同封、QRコードによる電子回答又はFAX
- 4 調査期間 令和3年4月28日から5月23日まで（調査基準時点 令和3年4月）
- 5 回答数 455人（回答率 20.0%）

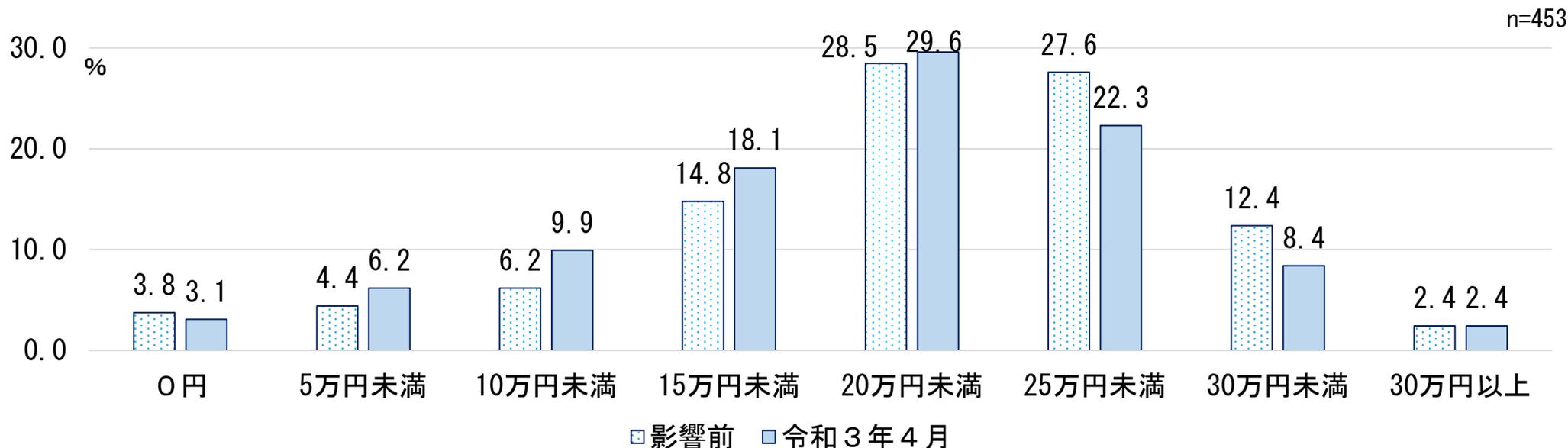
調査結果の概要

（1）回答者の属性



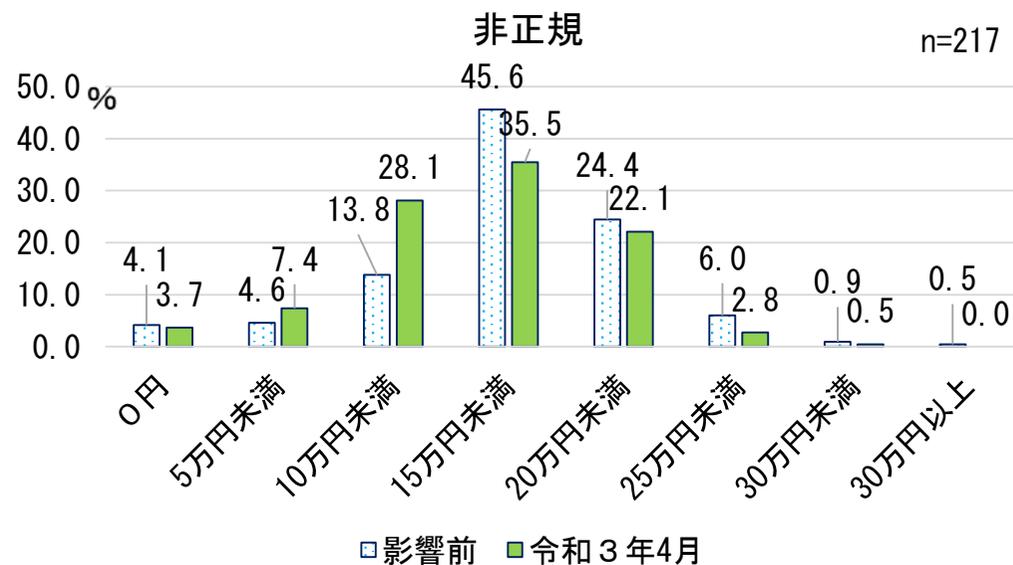
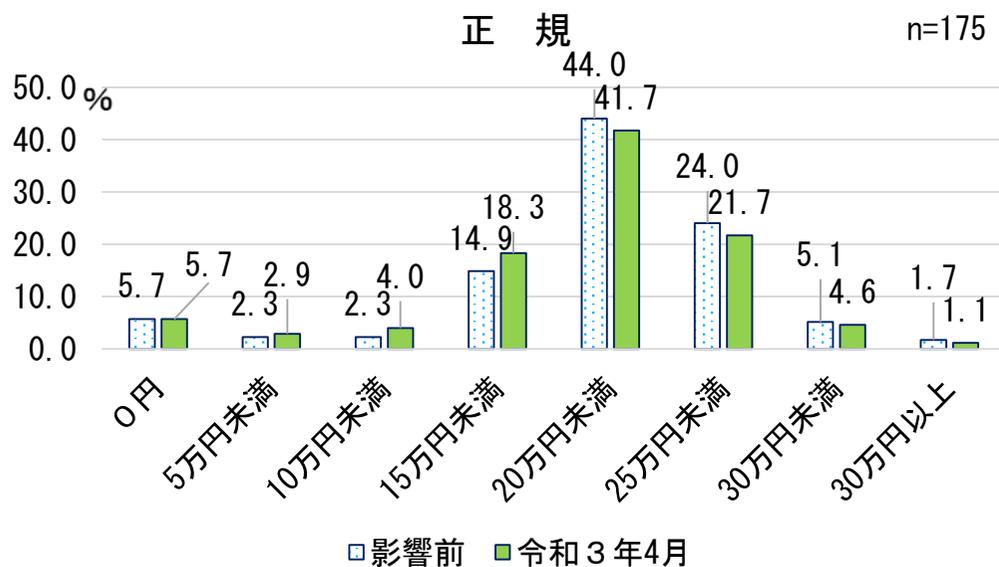
(2) 総収入（月額）の分布

児童扶養手当、養育費等を含む総収入の月額20万円未満の割合が、コロナ影響前より9.2ポイント増加。



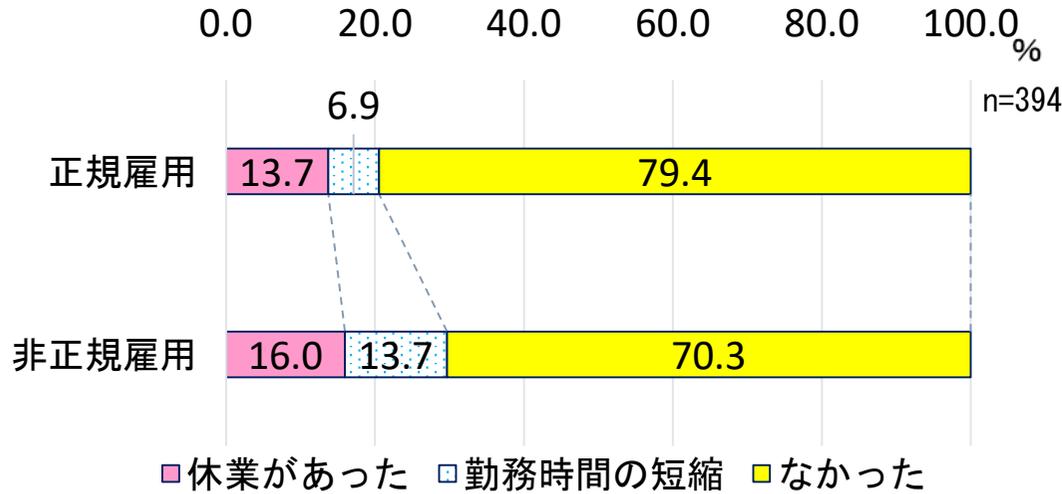
(3) 就業形態別就労収入（月額）の分布

非正規雇用では、就労収入の月額10万円未満の割合が、コロナ影響前より16.7ポイント増加。



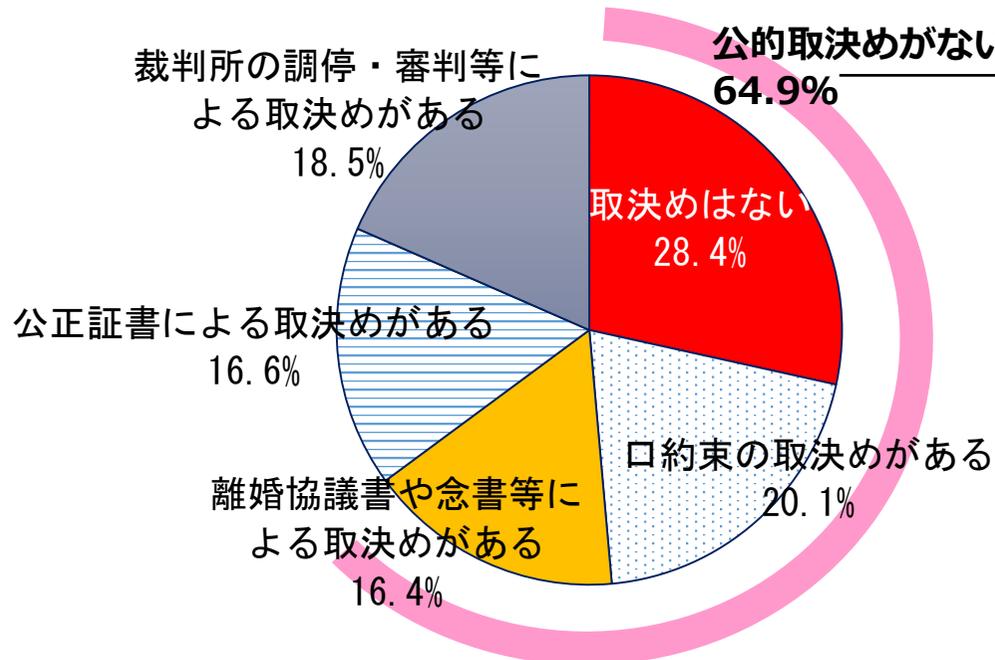
(4) R3.4の休業等の有無

休業又は時短があった割合は、非正規の方が正規より9.1ポイント高い。



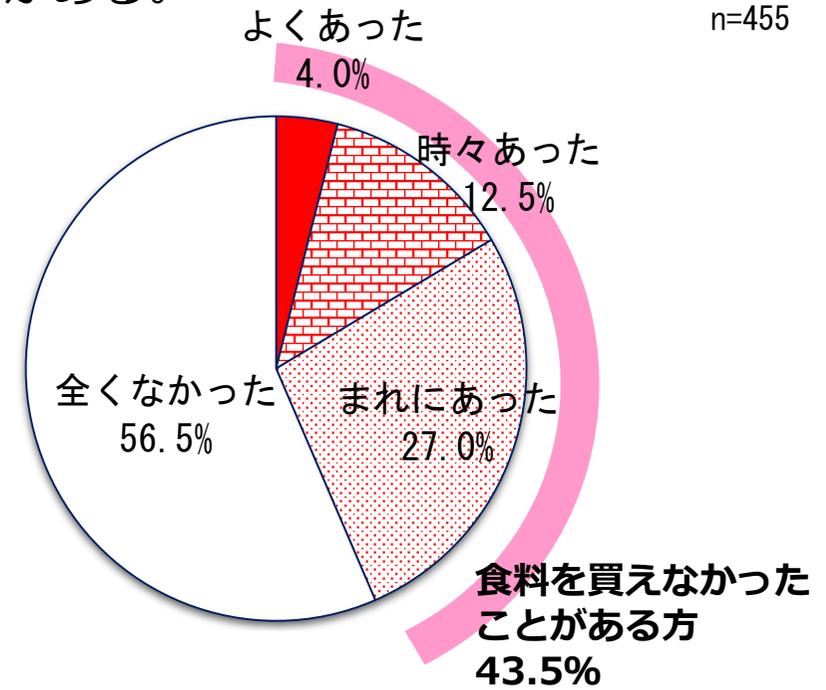
(6) 養育費に関する取決め (離別者のみ回答)

公的な取決めがない割合は約65%。



(5) R3.4に必要な食料を買えなかった経験

約4割の方が必要な食料を買えなかったことがある。



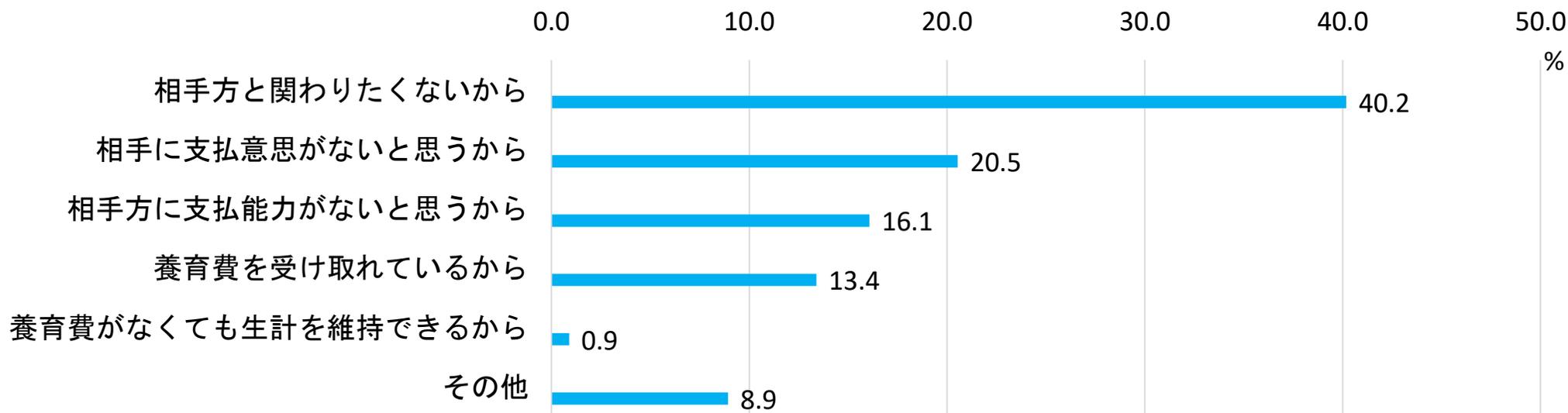
公的な取決めがない方のうち約4割は支援があれば、公的な取決めの作成に取り組みたいと考えている。

単位：% n=261

公的な取決めに取り組むつもりはない	42.9	
自分で取り組むので支援は必要ない	13.0	
支援があれば取り組みたい	無料法律相談	15.3
	公正証書作成費用の助成	11.1
	弁護士費用の助成	8.4
	書類作成の支援	4.6
その他	4.6	

公的取決めに取り組む考えがない理由

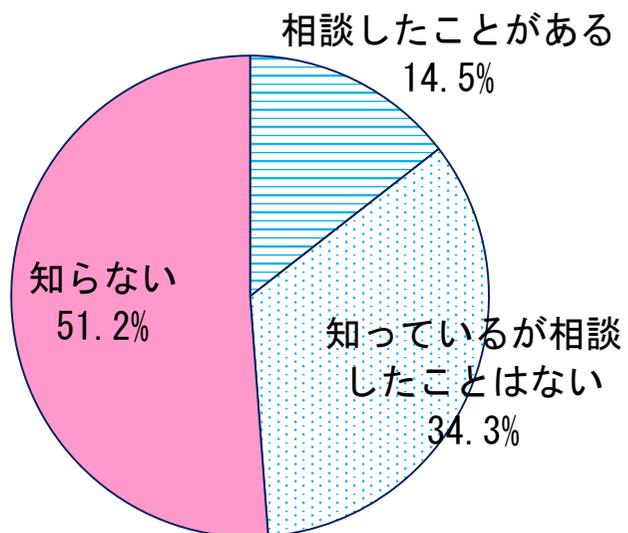
n=112



(7) 母子・父子自立支援員の認知度

約半数の方が、母子・父子自立支援員による相談・支援の制度を知らない。

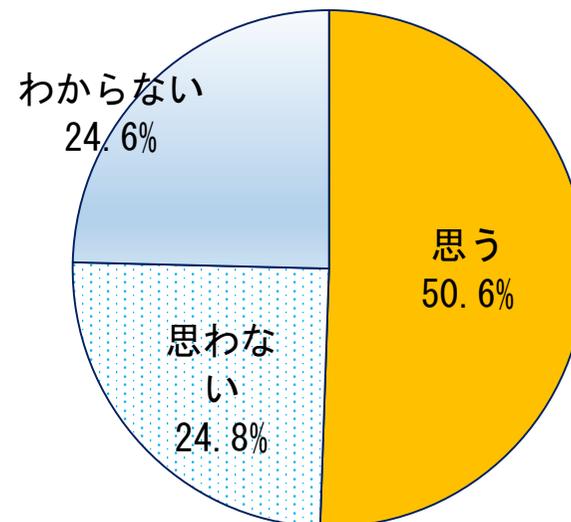
n=455



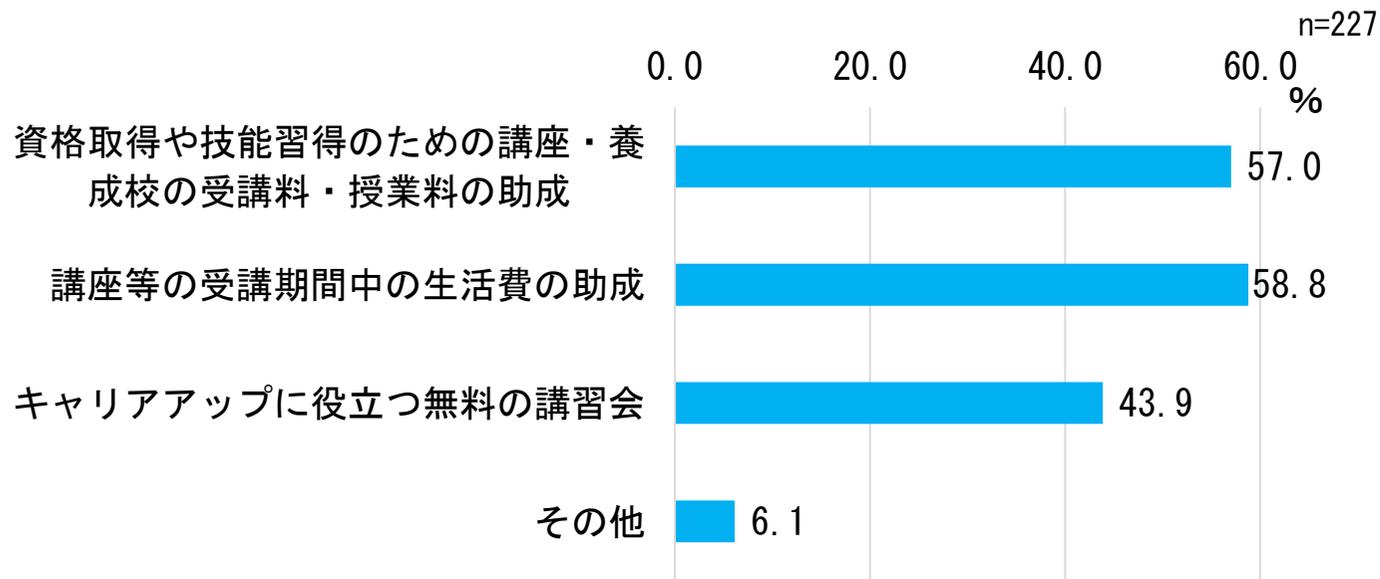
(8) キャリアアップ等の意向

約半数の方が、条件が良い職業への就職・転職やキャリアアップをしたいと考えている。

n=451



(9) キャリアアップ等に必要な支援と希望する資格等 (複数回答)



取得したい主な資格等

- ・医療事務
- ・簿記検定
- ・Webクリエイター
- ・看護師
- ・調理師
- ・Microsoft Office Specialist
- ・介護福祉士
- ・ファイナンシャルプランニング技能検定
- ・社会福祉士
- ・宅地建物取引士

(10) キャリアアップ等を希望しない理由 (複数回答)

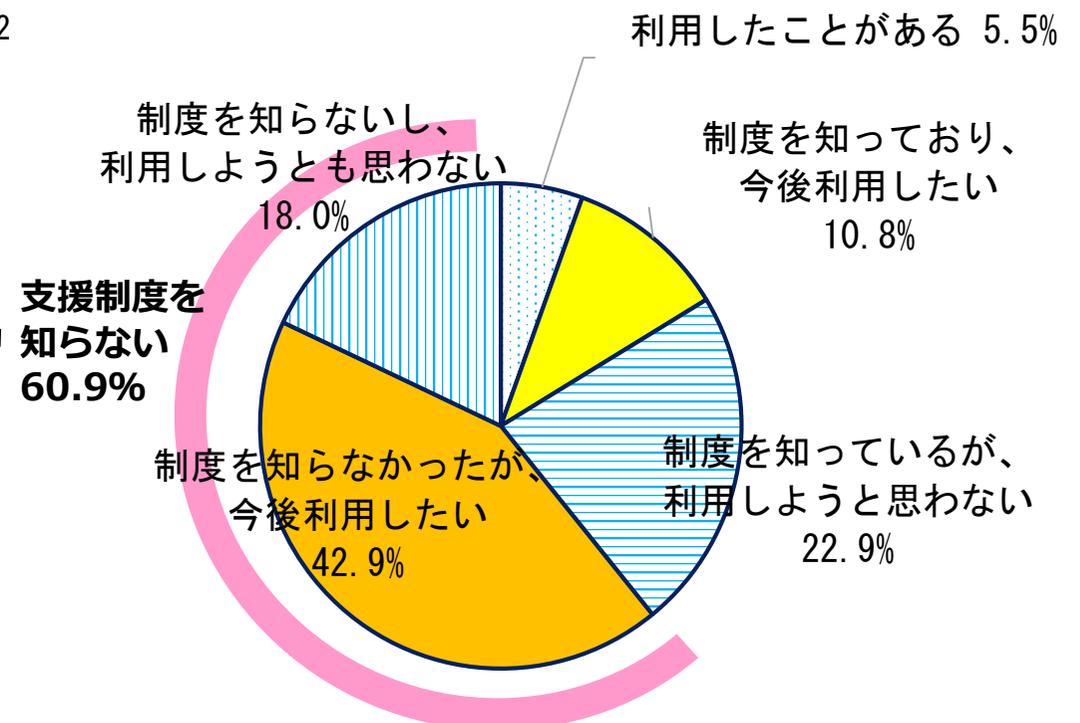
(複数回答)

単位：%

n=112

資格取得等の期間中、生活費を稼げないから	41.1
現在の収入で生計を維持できるから	40.2
資格取得等の費用を負担できないから	32.1
資格取得等により子育てに支障が出るから	25.0
学びたい講座がないから	10.7
その他	31.3

(11) キャリアアップ等の支援制度の認知度



(12) 寄せられた主なご意見

- ① 給付金支給に対する感謝
- ② 養育費について
 - ・ 元夫がコロナの影響で失業し、養育費の支払いができなくなった。
 - ・ 公正証書や調停調書があっても、相手に払う意思がなければ役に立たない。
 - ・ 養育費を支払わなくても罰則がない。強制的に徴収できる制度を整備して欲しい。
- ③ 就業支援・職場環境について
 - ・ 子育て中なので、キャリアアップ講習会自宅で受けられるとありがたい。
 - ・ キャリアアップしたいが、毎日仕事をこなすのが精一杯で時間もなく諦めている。
 - ・ キャリアアップしたくても、子供に合わせると転職は難しい。
 - ・ シングルマザーが働きやすい職場環境、年齢だけで判断せず採用する企業が増えることを期待する。
- ④ 支援情報の提供について
 - ・ 知らない支援を詳しく知りたい。
 - ・ 支援制度があることをもっと伝えていけば生活はよくなる。 制度を知らない人が多いと思う。
- ⑤ 相談支援について
 - ・ 平日職場に休みをもらって相談に行くのは厳しい。
 - ・ どこに相談したら良いのかがわからない。相談しにくい。
- ⑥ 経済的支援について
 - ・ 給付金の再支給や家賃補助をしてほしい。
 - ・ お米や缶詰など日持ちする食品を支援してほしい。
- ⑦ 就学支援について
 - ・ オンライン授業に対応するため、自宅にネット環境を整備し、毎月の家計支出が増加。
 - ・ 大学等へ進学させたいが、児童扶養手当や養育費もなくなることを考えると将来が不安。
 - ・ 子育て支援はたくさんあるが、大学等への進学支援が不十分。大学生に目を向けてほしい。
- ⑧ ストレスについて
 - ・ 地域の役員を一般家庭と同様に任され、精神的に追い込まれる。
 - ・ 会社から不本意な業務に異動させられ、大きなストレスを感じた。
- ⑨ その他
 - ・ コロナの影響は月収のみで判断できない。休みを削って働いていることは月収では見えない。